



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 天龍木材株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7904 URL <http://www.tenryu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大木 洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 邦利 (TEL) 053-421-1188
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,272	6.1	208	△19.1	46	△51.8	51	△70.4
24年3月期第3四半期	11,571	△2.3	257	△5.1	97	△3.8	173	238.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 54百万円(△64.4%) 24年3月期第3四半期 152百万円(444.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	5.75	1.40
24年3月期第3四半期	19.41	5.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,787	560	4.1
24年3月期	14,050	504	3.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 560百万円 24年3月期 504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,848	5.2	281	△10.2	59	△33.0	44	△64.2	4.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	9,111,190株	24年3月期	9,111,190株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	193,176株	24年3月期	198,664株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	8,914,587株	24年3月期3Q	8,927,556株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として企業収益や個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調にあります。欧州債務問題と中国経済の減速が懸念されており、景気の先行き不透明感は依然として払拭されないまま推移しております。

住宅関連業界におきましては、住宅取得促進策の効果や復興関連需要等により、新設住宅着工戸数は68万3千戸（前年同四半期比6.5%増加）となり、持ち直しの動きが見られるものの、デフレ経済の中で価格競争は依然として厳しい状況で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは、「3ヶ年経営計画～チャレンジ450～」の最終年度として、更なる収益性並びに財務体質の改善のための諸施策に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,272,546千円（前年同四半期比6.1%増加）となりました。損益面では、競争激化による利益率の低下等もあり、営業利益208,634千円（前年同四半期比19.1%減少）、経常利益46,805千円（前年同四半期比51.8%減少）となりました。また、東日本大震災により被災した当社石巻支店の施設・設備の復旧整備に要する経費について、補助金収入89,260千円を特別利益に計上するとともに、固定資産圧縮損76,024千円を特別損失に計上したことと、持分法適用関連会社でありましたプライムトラス(株)の株式売却による関係会社株式売却益4,700千円を特別利益に計上したこと等から、四半期純利益は51,242千円（前年同四半期比70.4%減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・ 木材事業

木材事業につきましては、石巻支店製材工場の操業再開により営業活動が本格化したこと等から、売上高が前年同四半期に比べ増加しました。この結果、売上高は、9,651,447千円（前年同四半期比7.3%増加）、セグメント利益（営業利益）は、241,316千円（前年同四半期比17.3%減少）となりました。

・ 建材事業

建材事業につきましては、営業体制の見直しによる商物品等の売上増加等から、売上高が前年同四半期に比べ増加しましたが、価格競争の激化等から業績が伸び悩みました。この結果、売上高は、1,860,701千円（前年同四半期比4.3%増加）、セグメント損失（営業損失）72,224千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）44,341千円）となりました。

・ その他

プレカット事業につきましては、地域密着の営業活動により付加価値の高い受注を確保するとともにコスト削減に努めました。中小工務店からの受注物件が第4四半期以降にずれ込んだことにより売上高が前年同四半期に比べ減少しましたが、売上総利益率の改善により売上総利益は増加しました。また、不動産賃貸事業は、平成23年10月に天龍東京ビル（テナントビル）を売却したことにより、不動産賃貸収入が前年同四半期に比べ減少しました。この結果、売上高は、760,398千円（前年同四半期比4.5%減少）、セグメント利益（営業利益）は、39,541千円（前年同四半期比274.7%増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産については、前連結会計年度末に比べ263,837千円減少し13,787,054千円となりました。この主な要因は、たな卸資産が188,774千円及び石巻支店の施設・設備の復旧等により建物及び構築物が38,686千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が109,187千円、前渡金が75,033千円及び関係会社株式の売却等により投資有価証券が206,658千円減少したこと等によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ319,342千円減少し13,226,624千円となりました。この主な要因は、短期及び長期借入金が434,927千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が666,281千円減少したこと等によるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ55,504千円増加し560,429千円となりました。この主な要因は、四半期純利益51,242千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間における業績の結果及び今後の動向等を踏まえ、平成24年11月14日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	856,031	827,222
受取手形及び売掛金	4,825,377	4,716,189
商品及び製品	2,470,771	2,570,180
仕掛品	32,900	91,085
原材料及び貯蔵品	250,306	281,486
前渡金	278,133	203,099
その他	248,438	204,318
貸倒引当金	△375,033	△382,248
流動資産合計	8,586,924	8,511,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	366,730	405,417
機械装置及び運搬具（純額）	57,010	51,444
土地	3,142,318	3,142,430
山林	483,503	487,993
リース資産（純額）	282,891	267,010
建設仮勘定	41,055	294
その他（純額）	3,249	3,537
有形固定資産合計	4,376,760	4,358,127
無形固定資産		
その他	22,051	20,990
無形固定資産合計	22,051	20,990
投資その他の資産		
投資有価証券	359,850	153,192
長期貸付金	102,479	143,194
破産更生債権等	1,121,037	999,808
その他	562,970	546,185
貸倒引当金	△1,081,182	△945,778
投資その他の資産合計	1,065,155	896,602
固定資産合計	5,463,967	5,275,720
資産合計	14,050,891	13,787,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,394,953	2,728,672
短期借入金	7,965,125	8,731,326
リース債務	58,947	55,776
未払法人税等	17,708	11,994
賞与引当金	12,400	2,396
その他	217,680	159,579
流動負債合計	11,666,814	11,689,744
固定負債		
長期借入金	1,370,474	1,039,200
リース債務	241,208	222,277
繰延税金負債	9,662	7,003
退職給付引当金	240,642	251,112
資産除去債務	12,594	12,715
その他	4,570	4,570
固定負債合計	1,879,151	1,536,879
負債合計	13,545,966	13,226,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,502,459	1,502,459
資本剰余金	1,000,000	1,000,000
利益剰余金	△1,966,975	△1,915,733
自己株式	△15,794	△14,601
株主資本合計	519,690	572,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,341	10,469
繰延ヘッジ損益	△590	1,572
為替換算調整勘定	△29,516	△23,737
その他の包括利益累計額合計	△14,765	△11,695
純資産合計	504,924	560,429
負債純資産合計	14,050,891	13,787,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	11,571,919	12,272,546
売上原価	10,354,377	11,069,977
売上総利益	1,217,541	1,202,569
販売費及び一般管理費	959,607	993,935
営業利益	257,934	208,634
営業外収益		
受取利息	2,348	2,357
受取配当金	10,576	11,437
為替差益	—	4,746
持分法による投資利益	13,631	3,320
その他	4,988	25,426
営業外収益合計	31,543	47,287
営業外費用		
支払利息	140,953	145,997
為替差損	1,154	—
その他	50,263	63,119
営業外費用合計	192,371	209,116
経常利益	97,106	46,805
特別利益		
固定資産売却益	105,186	—
関係会社株式売却益	—	4,700
補助金収入	—	89,260
特別利益合計	105,186	93,960
特別損失		
固定資産除売却損	4,088	330
投資有価証券評価損	—	2,752
固定資産圧縮損	—	76,024
災害損失	10,018	—
退職給付制度改定損	973	—
特別損失合計	15,080	79,108
税金等調整前四半期純利益	187,212	61,658
法人税、住民税及び事業税	14,163	10,471
法人税等調整額	△256	△55
法人税等合計	13,906	10,416
少数株主損益調整前四半期純利益	173,306	51,242
四半期純利益	173,306	51,242

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	173,306	51,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,812	△4,871
繰延ヘッジ損益	△1,229	2,162
為替換算調整勘定	△10,673	5,778
その他の包括利益合計	△20,714	3,069
四半期包括利益	152,591	54,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,591	54,311
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	木材事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,992,045	1,783,689	10,775,734	796,184	11,571,919	—	11,571,919
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,252	1,252	△1,252	—
計	8,992,045	1,783,689	10,775,734	797,437	11,573,171	△1,252	11,571,919
セグメント利益又は損失(△)	291,721	△44,341	247,380	10,553	257,934	—	257,934

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プレカット事業及び不動産賃貸等事業を含んでおります。

2 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	木材事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,651,447	1,860,701	11,512,148	760,398	12,272,546	—	12,272,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69,625	—	69,625	13,984	83,610	△83,610	—
計	9,721,072	1,860,701	11,581,774	774,383	12,356,157	△83,610	12,272,546
セグメント利益又は損失(△)	241,316	△72,224	169,092	39,541	208,634	—	208,634

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プレカット事業及び不動産賃貸等事業を含んでおります。

2 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。